

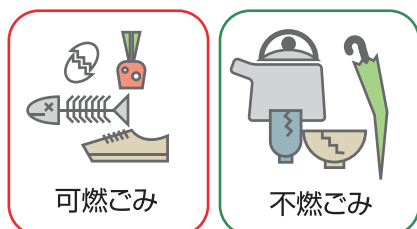
2. 電力所オフィスにおける3Rの推進

循環型社会の形成に向けて、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッション」活動を展開しており、発生抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再生利用 (Recycle:リサイクル) の3Rに取り組んでいます。

(1) 一般廃棄物の3R

電力所で発生する一般廃棄物には、古紙、ペットボトル、ビン、缶などがあり、人吉市の「資源ごみ」回収に協力するとともに、以下のような取り組みを行っています。

一般廃棄物の分類

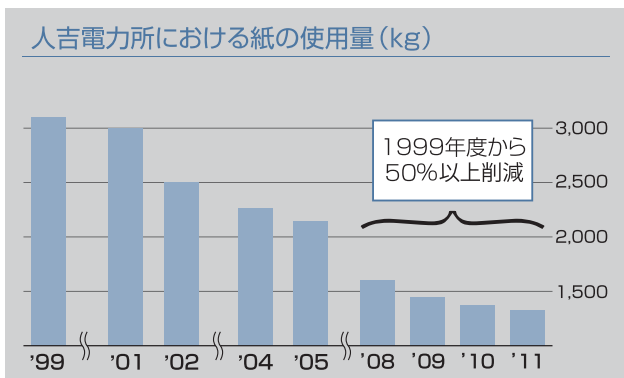


(人吉球磨クリーンプラザホームページより転載)

注) 当所から排出される使用済蛍光灯はグループ会社の(株)ジェイ・リライツですべてリサイクルされています。

■ リデュース、リユースへの取り組み

事務用紙については、電子承認システムの採用等による社内文書の電子化の推進及び印刷時の両面コピー、会議におけるプロジェクタの使用などにより、紙使用量を抑制するとともに、ミスコピー用紙の裏面利用などに努め、2008年度以降の事務用紙購入量は1999年度と比較して50%以上削減しました。



分別収集状況

■ リサイクルへの取り組み

2005年度から、割り箸リサイクルに取り組んでいます。回収した割り箸は、紙の原材料として再生利用されています。さらに2008年度からは、ペットボトルの蓋のリサイクルにも取り組んでいます。

また、生ごみについては、生ごみ処理機で堆肥化し構内緑化用の肥料として利用しています。



ペットボトル蓋・割り箸回収箱



生ごみ処理機設置状況